

方部出張型政策研究会 TopicsNo.3

第3回政策研究会〈令和元年8月20日 県白河合同庁舎〉

政策体系についての演習に取り組みました！

第3回研究会では、当センターの奥原総括支援アドバイザーが講師となり、はじめに、今回のテーマである「人口減少・少子高齢化が進み、自治体職員も減少する中にもあっても、地域に必要とされる行政サービスを提供し、行政系が可能となる自治体の在り方を考える」の背景にある「新たな自治体行政の考え方」、「政策体系とは何か」についての講義を行いました。



その後、第2回研究会で行った県南版「90歳ヒアリング」の内容を活かした各研究員が描く「心豊かな暮らし」を基に政策体系図（フィッシュボーン分析図）の作成を行いました。

「90歳ヒアリング」とは、東京都市大学環境学部古川柳蔵研究室で、研究の一環として行っている手法で、90歳前後（戦前の暮らしを体験された方）の高齢者の方々に直接お話を聞かせていただき、戦前の暮らしについて分析し、その中から忘れ去りつつある暮らしの知恵や感性、地域に伝承されている地域らしさを再発見し、未来の暮らし方にその仕組みを活かしていくものです。

まず、研究員がそれぞれ描いた「心豊かな暮らし」をもとに、各グループごとの「心豊かな暮らし」を描いていきます。



Aグループは「特色を活かし助け合う暮らし」、Bグループは「自然と共生する暮らし」をデザインしました。各グループとも悩みながらもそれを実現するための政策体系図を作成し、その後、ポスターセッション形式で発表を行いました。



発表者は他のグループに政策体系を説明します。時に鋭い突っ込みも、、、

次回は、東京都市大学教授古川柳蔵氏による、政策形成の講義演習を予定しています。